

# 第12回軍馬・軍犬・軍鳩合同 慰霊祭に参列して

慰霊・援護委員長

内田 益次郎 陸自74

4月2日(日) 13時から、靖國神社遊就館前広場に並ぶ戦没馬慰霊像・軍犬慰霊像・鳩魂塔の三慰霊像を前にして、靖國神社主催による第12回軍馬・軍犬・軍鳩合同慰霊祭が斎行されました。

戦没軍馬・軍犬・軍鳩の慰霊祭は、従前、それぞれの慰霊祭奉賛会等が中心となつて別々に開催されていましたが、会員の高齢化・減少に伴い、平成24年度から毎年4月の第1日曜日に合同で実施することになり、今回の開催が12回目になります。

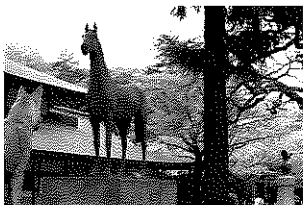
慰霊祭には、靖國神社の神職、軍馬・軍犬・軍鳩に御縁のある方々等、偕行社からは理事長代理熊谷猛副理事長以下、合計約60名が参列しました。また、慰霊祭に興味を持たれた靖國神社の一般参列者も慰霊祭会場(今回は、雨天を想定し遊就館内で実施)を取り巻き、祭式次第を見守つておりました。各慰霊像前には、人参、ドッグフード、豆類等が供えられ、

爽やかな春風を感じながら、散り始めたとはいえ、まだまだ見事な桜花の中、それぞれの像も喜び輝いて見えたのは私だけではないようです。

君が代斉唱の後、齋主の修祓、献饌、祝詞奏上に引き続き、「愛馬進軍歌」「軍用犬行進歌」「勇ましき軍鳩」が献楽され、各関係団体の方々の玉串奉奠の後、白鳩が放たれ、厳肅ながら爽快な気持ちで慰霊祭神事が終了しました。引き続き、参列者一同、昇殿参拝を行い、靖國の御祭神の戦友として斃れた軍馬・軍犬・軍鳩の慰霊鎮魂を祈りました。

各戦役で斃れたと推定される約110万頭の馬・数万頭の犬・数万羽の鳩、靖國の英霊と同じように、国のために命を捧げた軍馬・軍犬・軍鳩の慰霊・顕彰を末永く続けて行かなければとの思いを強くして靖國を後にしました。

奉拝



軍馬・軍犬・軍鳩像